

平成30年 第3回別海町教育委員会 会議録

1 開催日時 平成30年3月5日（月）
午前10時05分から午前10時30分まで

2 開催場所 別海町役場 町議会第2委員会室

3 出席者（4名）

教育長	伊 藤 多加志
教育委員	大 塚 保 男
教育委員	木 村 江 里
教育委員	粥 川 一 芳

4 出席職員（16名）

部次長	山 田 一 志
指導主幹	谷 口 秀 文
指導参事	根 本 渉
学務課長	入 倉 伸 顕
学務課主幹	谷 村 将 志
学務課主査	佐 藤 亮
学務課主任	天 神 幸 子
生涯学習課主幹	佐々木 いずみ
生涯学習課主査	戸 田 博 史
生涯学習課主査	立 澤 雅 彦
学校給食センター	斎 藤 美智子
西公民館長	新 堀 光 行
西公民館副館長	田 村 康 行
東公民館長	内 山 宏
東公民館副館長	福 原 義 人
図書館長	千 葉 宏

5 議事日程 議案第1号 平成29年度教育費予算の補正について
議案第2号 平成30年度教育費予算について

－【開 会】－

伊藤教育長

ただいまから平成30年第3回の別海町教育委員会を開会いたします。

本日の出席者は4名ですので、別海町教育委員会会議規則第5条の定

足数に達していますので、会議は成立いたします。

開会に当たり、私から一言ご挨拶申し上げます。

本日は、ご多用の中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

先日、３月１日別海高等学校の卒業証書授与式と農業特別専攻科修了証書授与式に出席させていただきました。

出席いただきました委員の皆様、大変ありがとうございました。

今年は７８名の卒業生でした。

厳粛な雰囲気の中で行われ、生徒達も落ちついて、とても良い卒業式でした。

別海町で小学校中学校高校としっかり成長してきていることが感じられました。

また、専攻科では５名が修了証書を受けておりました。

働きながら２年間学び続けた学生達の酪農への熱意を感じました。

どちらも大変感動して帰ってまいりました。

これから幼稚園の卒園式、小学校中学校の卒業式が行われます。

委員の皆様にも出席していただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは本日の日程に入ります。

よろしくお願いいたします。

－【会議録の承認】－

伊藤教育長

日程第２会議録の承認に入ります。

平成３０年第２回の会議録について、事前に各委員さんに事務局から送付しておりますので、訂正御意見等ありましたら発言をお願いいたします。

（「なし」の声あり）

伊藤教育長

なければ、平成３０年第２回の会議録について承認することとしてよろしいですか。

（「はい」の声あり）

－【報 告】－

伊藤教育長

それでは日程第３報告に入ります。

２月１４日に開催されました第２回教育委員会議から本日までの行事や実施事業等について事務局から報告願います。

部次長

それでは、お手元の資料により、２月１４日水曜日に開催されました第２回教育委員会議以降から本日までの主な行事や実施事業等について御報告申し上げます。

まず２月１４日水曜日ですけれども、午前１０時から第２回教育委員

会が行われ、同日、午後7時30分から西公民館とマルチメディア館におきまして、郷里砂選手応援の平昌オリンピックパブリックビューイング、1,000メートルの競技が行われております。

この開催において、マルチメディア館では140名、西公民館では280名の皆さんがお集まりいただき、熱烈な応援を繰り広げられております。

2月15日木曜日ですけれども、午後1時30分から定例教頭会議が行われております。

翌16日金曜日ですが、午後1時30分から勲章等の伝達が、受章者である松井彰氏の幕別町の自宅で行われております。

2月18日日曜日午後8時から、西公民館とマルチメディア館におきまして、今度は500メートルの競技ですけれども、パブリックビューイング行われ、マルチメディア館では120名、西公民館では220名の参加がありました。

2月19日月曜日ですけれども、午前11時から第2回学校給食センター運営委員会が行われております。

翌20日火曜日午後3時30分から、平成29年度定期監査に係る報告書の提出がありました。

翌21日水曜日午前10時から、西春別平成寿大学の修了式が行われております。

翌22日木曜日、中標津町役場におきまして午後1時30分から、第14地区教科用図書第5回採択教育委員会協議会、それから午後2時から、第4回根室管内市町教育委員会教育長会議が行われております。

翌23日金曜日ですけれども、午後2時40分から上西春別中学校におきまして、第2回上西春別保幼小中交流研究会、それから教育長学校出前トークが行われております。

翌24日土曜日午後3時から、中標津トーヨーグランドホテルにおきまして、平成29年度根室管内小・中学校校長会退職校長感謝状贈呈式・激励会が行われております。

翌25日日曜日午前10時から、マルチメディア館におきまして、平成29年度別海町障がい者等理解促進研修・啓発事業「一人ひとりが輝く共生の町の実現のために」と題しまして行われております。

翌26日月曜日午前10時から、第1回全員協議会が行われ、同日午後3時から、教育長室で住友設備工業様から移動式石油ストーブ10台、それから置台キャスター10台が寄贈されております。

翌27日火曜日ですけれども、午後1時半から、郷里砂選手別海町後援会の役員会が行われております。

3月に入りまして1日木曜日ですが、午前9時50分から別海高等学校で平成29年度卒業証書授与式、午後1時30分から農業特別専攻科第45回修了証書授与式が行われております。

以上です。

－【議 事】－

伊藤教育長

それでは、これから日程第4議事に入ります。

議案第1号平成29年度教育費予算の補正について事務局から説明願います。

部次長

それでは、議案第1号平成29年度教育費予算の補正について、私から御説明いたします。

別冊の平成29年度教育費補正予算、こちらをご覧いただきたいと思っております。

3月補正につきましては、ほとんどが事業の確定による執行残及び精査等に伴います減額補正となっておりますので、それ以外の理由による主なものについて御説明いたします。

議案第1号別冊資料の1ページをお開きください。

まず、歳入です。

最初に学務課関係分ですが、14款、国庫支出金、2項、6目、教育費国庫補助金、小学校費補助金、学校施設環境改善交付金1,473万6,000円の増及び表の中段になりますけれども、同目、中学校費補助金、学校施設環境改善交付金726万円の増は、国の補正予算によりまして前倒しで採択されました、野付、それから中西別、中春別の各小学校と野付中学校の煙突改修工事に係る補助金の増額補正ということで、全額次年度に繰り越しをするものです。

また、このことに伴いまして、下から4行目、21款、町債、1項、6目の教育債、この小学校債並びに中学校債の校舎等整備事業債を、それぞれ2,930万それから1,440万円を増額補正し、これも全額次年度へ繰り越しをするものであります。

次に、戻りまして、14款、2項、6目、教育費国庫補助金、中学校費補助金、北方領土隣接地域振興事業嵩上補助金802万8,000円の増は、平成28年度に実施をいたしまして、事業実績が確定をしました中春別中学校の屋内体育館の解体事業及び上西春別中学校校舎改築工事にかかります補助率のかさ上げを目的としたもので、補助採択を受けまして増額補正をするものであります。

学務課合計で7,170万2,000円の増額補正となっております。

次に、1ページ最下段から2ページ中段まで、生涯学習課関係であります。

14款、国庫支出金、2項、6目、教育費国庫補助金、社会教育費補助金、史跡整備費補助金の409万6,000円の増は、事業の実施に当たりまして補助対象となる経費が増えたことによる補助金の増額です。

また、これに伴いまして、21款、町債、1項、6目の教育債の社会教育債150万円を減額補正しております。

生涯学習課合計で3,530万円の減額補正となります。

以下、学校給食センター合計で572万1,000円の減、西公民館合計で4,000円の増、東公民館合計で10万円の減、図書館合計で19万円の減となりまして、教育委員会歳入全体で3,039万5,000円の増額補正となっております。

次に、歳出です。

3ページをお開きください。

学務課関係分ですが、4ページの1段目、10款、教育費、2項、4目、学校建設費4,421万円の増及び3項、4目、学校建設費の改修等工事請負費2,178万円の増は、歳入で申し上げましたとおり、国の補正予算により前倒しで採択された、野付、中西別、中春別の各小学校と野付中学校の煙突改修工事の確定に伴う増額で、その他については備考欄に記載のとおり、全て事務事業の執行を見込み及び確定による執行残、また、精査等による減額で、合計で5,903万9,000円の増額補正となっております。

次に、生涯学習課関係分ですが、4ページ下段から6ページ下段までです。

5ページをご覧ください。

5ページの上から7段目、10款、教育費、5項、4目、青少年教育費の派遣費補助金45万円の増は、中春別小、中学校の児童生徒がリーダーコンテストでの全国大会が決まっております、それらの対応に予算が不足することから、補正をするもので、その他につきましては、備考欄に記載のとおり、全て事務事業の執行の見込み及び確定による執行残、また、精査等による減額で、合計で573万5,000円の減額補正となっております。

以下、7ページ、学校給食センター合計で317万2,000円の減、中央公民館合計で41万1,000円の減、8ページに入りまして、西公民館合計で197万2,000円の減、9ページ、東公民館合計で41万1,000円の減、図書館合計で323万7,000円の減、郷土資料館合計で10万6,000円の減となりまして、教育委員会歳出全体で4,399万5,000円の増額補正となりまして、補正後の教育費全体の額は17億1,352万4,000円となっております。

伊藤教育長

概略につきましては以上ですが、この後、質問の回答につきましては、各所管から説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上で説明を終わります。

内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

御質問等がなければ採決いたします。

議案第1号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

伊藤教育長

異議がないようですので、議案第1号について原案のとおり決定することといたします。

それでは、次に議案第2号平成30年度教育費予算について事務局から説明願います。

部次長

議案第2号平成30年度教育予算の概要について私から御説明申し上げます。

議案第2号別冊資料の1ページをお開きください。

まず、歳入です。

12款、分担金及び負担金9,544万8,000円は、学校給食費の負担金です。

次に、13款、使用料及び手数料1,053万6,000円は、認定こども園の保育料及び各公民館の使用料等となっております。

次に、14款、国庫支出金、1項、国庫負担金5,219万7,000円は、主に上西春別中学校屋体改築工事に伴う負担金です。

それから2項、国庫補助金3億4,897万8,000円につきましては、主に、生涯学習センターの実施設計及び文化財保存整備事業に伴う補助金となっております。

次に15款、道支出金、2項、道補助金2,407万円は、文化財保存整備事業に伴う補助金、同款、3項、道委託金49万8,000円は、スクールソーシャルワーカー委託金で、16款、1項、財産運用収入843万4,000円は、教員住宅の使用料が主なものです。

2項、2目、物品売払収入4万1,000円、それから20款、諸収入、3項、貸付金元利収入818万6,000円は、奨学金の返還金となります。

それから5項、雑入2,354万1,000円は、社会保険料の自己負担及びスポーツ振興くじ助成金が主なものとなっております。

21款、町債7億6,950万円は、スクールバスの購入、上西春別中

学校の屋体等整備、旧奥行臼駅通所整備、町民体育館の内部改修、西公民館舞台装置の耐震化及び学校給食センターの整備に伴う町債となっております。

以上、歳入合計で13億4,142万9,000円となっております。

次に、歳出です。

3ページをお開きください。

2款、総務費、1項、総務管理費、16目、諸費2,886万9,000円、こちらにつきましては、別海高等学校への通学費助成等の支援策で、新たに寄宿施設に係る助成が追加され、対前年度比で1,347万6,000円の増額となっております。

次に10款、教育費、1項、1目、教育委員会費429万円、それから、2目、事務局費が1,261万9,000円、3目、教育指導費3,058万8,000円、4目、奨学金1,260万円、次に2項、小学校費の1目、学校管理費1億6,033万3,000円、こちらは前年比2,066万3,000円の減となっておりますが、施設舞台装置耐震改修工事、これは中央小、上春別小、上風連小、それから中西別小、この完了が主な理由となっております。

2目、教育振興費2,324万円、こちらは493万2,000円の増となっておりますが、小学校児童用図書整備事業及び小学校教師用指導書等の購入事業の増というものが主な理由で、次に、3目、通学対策費1億76万3,000円、こちらも1,882万4,000円の増額となっておりますが、野付地区のスクールバス更新による増が主な理由となっております。

次に4目、学校建設費494万7,000円、こちらは580万円の減になっておりますが、学校施設の修繕計画として実施をしました個別計画策定業務委託の完了が主な理由です。

続いて、3項、中学公費、1目、学校管理費、1億5,055万6,000円、こちらも1,351万6,000円の減となっておりますが、施設舞台装置耐震改修事業、野付中、上春別中、中央中、この完了が主な理由で、2目、教育振興費2,089万5,000円、それから、通学対策費4,139万8,000円、こちらは338万8,000円の増になっておりますが、スクールバス運行経費の増が主な理由です。

4目、学校建設費4億4,592万円、こちらにつきましては2億717万8,000円の大幅な増額となっておりますが、上西春別中学校の校舎の改築工事が終わりました、次年度、億単位の改築工事を行います、その事業費の差額が主な理由です。

4項、幼稚園費、1目、幼稚園管理費4,186万2,000円、こちら

は1,239万6,000円の減になっておりますが、幼稚園の正職員の増加によるものが主な理由となります。

次に2目、教育振興費547万円。

5項、社会教育費、1目、社会教育総務費1億1,333万3,000円、こちらは2,056万1,000円の減となっておりますが、旧奥行臼駅通所の保存修理工事の事業費の減額及び別海高校の海外視察研修事業の参加者見込みの減が主な理由です。

4ページをごらんください。

2目、生涯教育推進費82万7,000円、3目、生涯教育学習費600万9,000円、こちらは139万8,000円の増額になっておりますが、すすく学級の生涯学習アドバイザーの1名増員が主な理由になっております。

4目、青少年教育費602万2,000円、こちらは151万8,000円の減になっておりますが、友好都市少年少女ふれあいの翼交流事業が次年度は枚方市から受け入れることとなりますので、そのことによる事業費の減が主な理由で、5目、中央公民館費2,559万9,000円、次に6目、東公民館費1,231万1,000円、こちらは607万2,000円の減になっておりますが、施設舞台装置耐震改修工事の完了が主な理由です。

次に7目、西公民館費2,118万2,000円、次に8目、図書館費4,451万7,000円、こちらは956万6,000円の減となっておりますが、施設外壁改修、それから真空ヒーターの入れ替え工事、この完了が主な理由です。

次に、9目、郷土資料館費811万8,000円、次に、10目、生涯学習センター費8,763万8,000円、こちらは、これまで総務部のほうにありました生涯学習センター建設準備室の機能が、教育委員会に次年度から移管されることによるもので、本目新設で全額が増額となりまして、実施設計策定の業務委託料が主なものとなっております。

続いて、6項、保健体育費、1目、保健体育総務費8,440万8,000円、こちらは1,823万5,000円の減となっておりますが、町民プールのボイラー入れ替え工事の完了など、実施事業費との差額が主な理由となっております。

次に、2目、学校給食費8億6,119万1,000円、こちらは6億173万5,000円の大幅な増額となっておりますが、施設建設にかかる工事費の増が主な理由となっております。

次に、3目、へき地学校保健管理費1,284万円。

次に、4目、総合スポーツセンター費1億1,525万7,000円、こ

ちらは485万4,000円の減となっておりますが、引き続き、内部改修工事を行います、その事業費の差額が主な理由です。

次に、5目、パイロットマラソン大会費800万円、こちらは106万4,000円の増となっておりますが、記念大会による事業費の増加によるものです。

次に、6目、学校開放事業費10万円。

以上、総務費及び教育費とあわせまして24億9,170万2,000円の予算となっております。

前年度と比較しますと、8億3,046万4,000円の大幅な増額となっております。

続きまして5ページをお開きください。

新年度に実施いたします事業について主なものを御説明申し上げます。

まず、1行目です。

別海高等学校教育支援事業2,886万9,000円。

こちらにつきましては、これまでも助成をしております通学費、教育振興会への助成、eラーニング事業、外部指導者派遣事業の補助にあわせまして、新年度から寄宿施設の保護者助成と設置者に対する寄宿施設等の運営費助成事業を計上しております。

続きまして4行目、生きる力アッププロジェクト事業395万6,000円。

こちらにつきましては、平成26年度から実施し、平成29年度から2期目がスタートしておりますが、これまでと同様に、先進地への教師派遣等を行ってまいります。

次の行です。

コミュニティ・スクール推進事業100万円、こちらにつきましては、本年度、野付、中西別、上西春別地区で試行を行ったところですが、平成30年度につきましては、上風連、中春別、西春別、別海中央の4学校区で施行を始め、これで8校区全ての実施ということになります。

1行空きまして、小学校設備整備事業1,361万円、こちらにつきましては、西春別小の高圧充電設備の補修工事及び上西春別小のダムウェーター制御整備の更新を行うものです。

下から2行目、中学校設備整備事業350万円につきましては、野付中学校の放送設備改修工事を行うものです。

6ページをご覧ください。

3行目、防衛施設周辺防音事業上西春別中学校防音事業の4億4,592万円ですが、今年度に引き続きまして、屋体の改築及び外構工事を実

	施いたします。 1 行空きまして、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業町民体育館整備事業3億9,001万9,000円、こちらは、今年度の外部改修工事に引き続き内部改修工事を実施いたします。 1 行空きまして、奥行地区文化財保存整備事業1億96万5,000円こちらは旧奥行臼駅通所の改修工事で3年間の改修工事となっておりますが、平成30年度は最終となります。 7 ページをお開きください。 3 行目、生涯学習センター整備事業8,763万8,000円、こちらは先ほど説明しましたが、施設の実施設計業務の委託を行うものです。 2 行空きまして、学校給食センター改築事業6億3,984万9,000円、こちらにつきましては施設建設に伴う工事費で、平成30年度から2カ年で整備を行うものです。 以上、抜粋して説明をさせていただきましたが、事業費に係る合計額につきましては、18億3,127万1,000円となっております。 以上で、平成30年度教育費予算の説明を終わらせていただきます。
伊藤教育長	内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。
木村委員	中西別地区のトイレ改修が小学校、中学校の教員住宅で予算が出てきています。 どのような改修ですか。
学務課長	この中西別地区のトイレ改修工事ですけども、トイレの水洗化を行うものです。
伊藤教育長	そのほかございませんでしょうか。 (「なし」の声あり)
伊藤教育長	御質問等がなければ採決いたします。 議案第2号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり)
伊藤教育長	異議がないようですので、議案第2号について原案のとおり決定することといたします。
	－【その他】－
伊藤教育長	それでは、議事については全て終了しましたので日程第5その他に入ります。 事務局から何かございますか。
生涯学習課主幹	現在策定作業を進めております別海町における子どもの読書活動推進計画、この概要について説明をさせていただきたいと思います。

本年度策定する予定の別海町子ども読書活動推進計画についてですが、現在、パブリックコメントを2月23日から3月25日までの期間で実施していますので、策定の意図や内容について概略ではありますが、説明させていただきます。

資料別海町子ども読書活動推進計画案概要版をご覧ください。

まず、国や道の動きですが、国は、子どもの健やかな成長のため、全ての子どもがあらゆる機会と場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、平成13年、子どもの読書活動の推進に関する法律を施行しております。

これに基づき、平成14年には第1期となる子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画を閣議決定し、現在は第3次基本計画を閣議決定しています。

また、北海道においても、平成13年に北海道子どもの読書活動推進計画を策定し、現在は第3次計画を定めております。

市町村においても努力義務ではありますが、同様に計画の策定が求められておりましたので、町内において、関係する所管部署による検討委員会を設置し、本計画の策定を進めてまいりました。

計画案の概要ではありますが、基本的方針にありますとおり、国、道の子どもの読書活動推進の計画で示されている方針を基本として、地域の実情や子どもたちの読書状況を踏まえ、町内あらゆる機会と場所において本に親しみ、本を楽しむことができるよう、家庭、地域、学校など、社会全体で読書活動に親しむ環境づくりを推進することを目的としております。

まず、基本方針の1ですが、社会全体での子どもの読書活動の推進として、家庭、地域、学校等における読書活動の推進を掲げております。

次に、基本方針としては、子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備として、地域と学校図書館における読書環境の整備を掲げています。

なお、本計画に掲載の取り組みは、計画期間中に入れられた効果や進捗が確認できるよう、成果指標として、1カ月間に1冊も本を読まなかった割合である不読率の検証、また、読書が好きな子供の増加の2点を挙げています。

これにより各部署で実施される数々の取り組みが大きな枠として何を目指す必要があるのかを明確にするとともに、計画期間後には、事業評価が可能なよう設定を予定しております。

次に、計画策定に係る町民参加機会についてです。

本計画策定においては、2つの町民参加の機会を設けました。

1つは冒頭に話しましたとおり、現在、パブリックコメントを実施しております。

もう1つは、本町の児童生徒の読書状況がどのような状態にあるのかを全国的な指標に照らし合わせることにより、施策形成の元となる課題を確認し、解決に必要な取り組みについて検討するため、別海町子どもの読書調査として、1カ月間の読書量や読書に係る要望について、町内の小学4年生から高校生までを対象にアンケート調査を実施いたしました。

その結果の一部ではありますが、左の4現状から見えてくる課題として掲載をしておりますのでご覧ください。

まず1カ月間の書籍の平均読書量になります。

昨今、子供の活字離れ、読書離れがテレビや新聞などメディアにおいて報道されることも見られますが、左の赤い棒が全国調査の結果、右の青い棒が今回の町内調査の結果になります。

結果としては、小学生、高校生において全国平均より低い状況にあることがわかります。

次は、1カ月間に1冊も書籍を読まなかった児童生徒の割合であります。

一般的に不読率として統計的にも広く用いられる指標の1つですが、本町の小中高生は成長期のいずれの段階においても、全国値より高く、本を読まない子どもが多いという結果がわかりました。

最後は3町立図書館と学校図書館に望むこと、図書館司書と司書教諭に望むことの比較です。

これも全国調査と同様な項目でアンケート等を行っておりますが、左に伸びる文科省の町立図書館司書、図書館司書に望むこと、右に伸びる分が、学校図書館、学校司書、司書教諭に望むことになっています。

関連する設問としては、このほかにも多くありますが、ここには特徴的な部分を抜粋して掲載しております。

なお、検討委員会においては、これらのアンケート結果をもとに課題を分析し、計画案を策定しました。

パブリックコメント終了後には寄せられました意見に対する回答と計画への取り込みを得て、本年度中の策定を予定しております。

以上で、別海町子どもの読書活動推進計画の策定について説明を終わります。

ただいまの説明に対して、御質問等がありましたらお受けいたします。

今、本町で、各学校においても読書活動を積極的に進めているような状況にあります。

伊藤教育長
大塚委員

部次長

我々も今まで色々なところに研修へ行った結果ですけれども、やはり地方自治体においては、図書館司書とかあるいは学校にも司書教諭を配置して読書活動を推進しているという実態があります。

本町においてもいろいろと取り組んでいただいておりますが、この結果から見て、今後、図書館司書や学校の司書教諭の整備、あるいは町の図書館と学校の図書室を連動するようなシステムづくりが求められていくのではないかと思います。その辺について、直接この案件と関わりないかもしれませんが、町の今後の方向性についてどのように考えておられるのか、もしわかれれば教えていただきたいと思いますがいかがでしょう。

今委員さんおっしゃられたとおりですね、こういう形でアンケートの結果なんかを見ますと、確かに不読率というか、全国と比べても読まない子が多いという実態というのは把握できてるのかなと。

そういった意味で、読書を推進する立場といいますか、促すというような役割では図書館司書と学校の司書教諭とか、そういったものの重要性というものは非常に理解しているところでもありますし、図書館司書については、当初いろいろと不足していた中で、ここ数年、計画的にといいますか、希望を満たされる形では、ある程度は一応できているのかなというふうには思っているところではあります。ただ、今年度から上西春別中学校で新たに開放型の図書館を設置するなどですね、そういった意味では、司書を配置はしているけれども、逆に図書館司書が出向いたりという部分で、その役割といいますか、そういった業務が増えているということもあるのかなというふうに思っています。

次年度に向けてはですね、図書館司書が学校の現場等でですね、司書教諭なんかと協力をしてですね、そういった学校図書等の充実といいますか、そういった部分では連携を図りながら進めていこうということも考えておりますので、そういった、今後、需要の高まりだとか、そういったものがあるのであれば、当然、需要に対応すべく、人員配置ということも考えていかなければならないのかなというふうには思っているところです。

いずれにしても、まずは既存のそういった体制をですね、うまく活用して、そういった読書活動の推進、こういったものにつながるような取り組みをできるところからやっていければなというふうに考えております。

以上です。

大塚委員

是非そういうようなことで積極的な方向で考えていただければ、子供たちにそういう意識を持たせることとか、やっぱり大事なのかなと思う

ので、その役割を果たすのはもちろん学校の先生方であるのは当然なの
ですけれども、町としてそういった図書館の司書だとか、せっかく上西春
別中学校に地域開放型の図書館をつくったということで、それらの充実
も図りながら、学校との連携とれるような、そういう体制作りというの
は必要なのかなというふうに思うものですから、既存の司書の活躍によ
ってですね、また今後考え、検討していきたいとのことだと思いうん
ですけれども、是非そういうことをお願いしたいなというふうには思います。

以上です。

伊藤教育長

その他に御質問等ございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

その他事務局から何かございますか。

(その他なし)

伊藤教育長

委員さんから何かございますか。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

それでは、以上で本日予定していました案件については全て終了しま
した。

これをもちまして、第3回教育委員会議を閉会いたします。

皆さん御苦勞様でした。

－【閉 会】－